

2027年（令和9年）度

学 生 募 集 要 項

言 語 文 化 学 部

国 際 社 会 学 部

国 際 日 本 学 部

【学校推薦型選抜】



東京外国語大学

Tokyo University of Foreign Studies

出願期間

2026年（令和8年）11月1日（日）～11月5日（木）

目 次

東京外国語大学（学士課程）のアドミッションポリシー	1
I. 趣旨	2
II. 募集人員	2
III. 推薦人数	4
IV. 出願資格等	4
V. 出願期間	6
VI. 出願手続等	6
VII. 受験票	8
VIII. 選抜方法	9
IX. 合格者発表	9
X. 入学手続等	10
XI. 障害等のある志願者の事前相談について	11
XII. 個人情報の利用について	11
XIII. 出願書類記入上の注意	12

○ 東京外国語大学（学士課程）のアドミッションポリシー

① 教育の理念

東京外国語大学の理念は、世界の言語と、それを基底とする文化・社会に関する教育を実施し、豊かな人間性、深い思考力、鋭利な感性を養い、高度なコミュニケーション能力、豊かな教養、広い視野を身に付け、さまざまな文化的背景をもつ世界諸地域の人々と協働して地球的課題に取り組むことができる人材を養成することです。

② 求める学生像

東京外国語大学では、世界諸地域の言語・文化・社会の仕組みを解明する諸学問分野や、国際的な諸問題を超域的な視点から扱う諸学問分野の基礎を学ぶことができます。

国内外の高等学校等において、総合的で確かな基礎学力、ものごとに対する思考力・判断力・表現力、そして主体的に学ぶ態度を身に付けた上で、本学の理念に共感し、さまざまな文化的背景をもつ人々と共に働き、地球的な課題に取り組む意欲にあふれる人を受け入れます。

【言語文化学部】

世界のさまざまな地域の言語と文化に精通し、国内外において異なる言語間・文化間の架け橋となって活躍する国際教養人を目指す人を歓迎します。

卒業後の進路としては、次のような目標が考えられます。

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| ○出版、広告、観光などに関わる職業 | ○文化事業の企画に関わる職業 |
| ○新聞社、放送局などのマスメディア | ○国際的に展開する企業（金融、商社、メーカーなど） |
| ○通訳・翻訳に関わる職業 | ○英語など外国語教育に関わる職業 |
| ○大学院に進学し、研究・調査の仕事 | |

【国際社会学部】

世界の国や地域の歴史・政治・経済・社会に関心をもち、多様なビジネスの分野はもちろん、国際社会と協働して現代世界が抱える紛争・災害、環境問題、経済格差・貧困等の問題解決に携わることによって、人間社会に貢献する国際職業人を目指す人を歓迎します。

卒業後の進路としては、次のような目標が考えられます。

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| ○外交官などの国家公務員及び地方公務員 | ○国際的に展開する企業（金融、商社、メーカーなど） |
| ○国際機関や国際的に活動する NGO | ○新聞社、放送局などのマスメディア |
| ○社会科・地理歴史科の中学・高校教員 | ○大学院に進学し、研究・調査の仕事 |

【国際日本学部】

国際的視点から日本を学び、日本発のグローバルリーダーとなることを目指す人、また、多言語・多文化化の進む日本や世界で共生社会実現に貢献することを目指す人を歓迎します。

卒業後の進路としては、次のような目標が考えられます。

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| ○グローバル企業、海外展開をする日本企業 | ○地方自治体、中央官庁、国際機関等 |
| ○通訳や翻訳の仕事 | ○観光や運輸関係の企業 |
| ○出版・メディア関係の企業 | |
| ○大学院に進学し、研究・調査の仕事 | ○国語科の中学・高校教員 |
| ○日本語教育・日本文化に関わる国内外の教育・研究機関 | |

③ 選抜方法の方針（学校推薦型選抜）

- ・言語文化学部、国際社会学部、国際日本学部で実施します。
- ・本学での学びに対する主体的な意欲をもち、大学での教育を受けるための基礎学力を確実に身に付けた学生を選抜するため、出身学校長の推薦に基づき、提出書類と小論文、面接により、総合的に評価します。
- ・提出書類には、英語の資格・検定試験の成績が含まれます。本学は、推薦される生徒に高度な英語力を備えていることを求めていること、文部科学省が発表する「CEFR との対照表」により B2 以上を取得していることが推薦の条件となります。
- ・言語文化学部では、その場で与えられた課題について小論文を書きます。面接では、大学入学志望理由書、活動報告書などをもとにした質疑を行います。これにより、本学での学びへの意欲、基礎学力、思考力・判断力・表現力を確認します。
- ・国際社会学部では、あらかじめ指定された課題図書について小論文を書きます。課題図書の著者の主張を踏まえ自分の考えを論理的に展開することができるかを確認します。面接では、小論文や大学入学志望理由書、活動報告書などをもとにした質疑を通じ、高等学校における学習歴を確認するとともに、自身の考えを適切に表現するコミュニケーション力を確認します。
- ・国際日本学部では、その場で与えられた課題について小論文を書きます。面接では、大学入学志望理由書、活動報告書などをもとにした質疑を行います。これにより、本学での学びへの意欲、基礎学力、思考力・判断力・表現力を確認します。

I. 趣旨

「学校推薦型選抜」では、出身学校長の推薦に基づき、大学入学共通テスト及び個別学力検査等を免除して、学校長の推薦書、大学入学志望理由書、英語の資格・検定試験のスコア、活動報告書、調査書等の提出書類ならびに小論文及び面接を総合評価し、合格者を決定する。

これは、入学者選抜の多様化の一環として実施するものであり、本学の特色・専門分野に興味を持ち、高等教育を受けるための基礎学力を確実に身につけた志願者を、学校長からの推薦を受け、選抜するものである。

なお、本学を含め、国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う大学を除く。以下同じ）の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含む）へ出願できるのは、1つの大学・学部のみである。

II. 募集人員

1. 言語文化学部 言語文化学科

募集単位（専攻言語）	募集人員	入学後の専攻地域
英語	5 人	北西ヨーロッパ・北アメリカ
ドイツ語	3 人	中央ヨーロッパ
ポーランド語 チェコ語	2 人	
フランス語	3 人	
イタリア語	2 人	西南ヨーロッパ
スペイン語	3 人	イベリア・ラテンアメリカ
ポルトガル語	2 人	
ロシア語	3 人	ロシア
ロシア語及びウズベク語 モンゴル語	2 人	中央アジア
中国語	3 人	東アジア
朝鮮語	2 人	
インドネシア語 マレーシア語 フィリピン語	3 人	東南アジア
タイ語 ラオス語 ベトナム語 カンボジア語 ビルマ語	5 人	
ウルドゥー語 ヒンディー語 ベンガル語	3 人	
アラビア語 ペルシア語 トルコ語	4 人	
合計	45 人	

（注1）「募集単位（専攻言語）」の中に複数の専攻言語が入っている場合は、各専攻言語の募集人員は1人。ただし、アラビア語は2人。

（注2）合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合、その欠員分は、言語文化学部の前期日程の募集人員に加える。

2. 国際社会学部 国際社会学科

募集単位（専攻地域）	募集人員	入学後の専攻言語
北西ヨーロッパ／北アメリカ	2 人	英語
中央ヨーロッパ	2 人	ドイツ語
		ポーランド語
		チェコ語
西南ヨーロッパ	2 人	フランス語
		イタリア語
イベリア／ラテンアメリカ	3 人	スペイン語
		ポルトガル語
ロシア	2 人	ロシア語
中央アジア		ロシア語及びウズベク語
		モンゴル語
東アジア	3 人	中国語
		朝鮮語
東南アジア第1	2 人	インドネシア語
		マレーシア語
		フィリピン語
東南アジア第2	2 人	タイ語
		ラオス語
		ベトナム語
		カンボジア語
		ビルマ語
南アジア	2 人	ウルドゥー語
		ヒンディー語
		ベンガル語
中東	2 人	アラビア語
		ペルシア語
		トルコ語
アフリカ	2 人	英語
オセアニア	1 人	英語
合計	25 人	

(注1) 「入学後の専攻言語」が複数ある「募集単位（専攻地域）」を希望する志願者は、出願時に希望する「入学後の専攻言語」を1つ選択すること。

(注2) 合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合、その欠員分は、国際社会学部の前期日程の募集人員に加える。

(注3) 「募集単位（専攻地域）」が「北西ヨーロッパ／北アメリカ」及び「イベリア／ラテンアメリカ」の合格者は、入学手続時にいずれか1つの専攻地域を選択すること。詳細は、入学手続書類にて確認すること。

3. 国際日本学部 国際日本学科

募集単位（学科）	募集人員
国際日本学科	10 人

(注1) 合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合、その欠員分は、国際日本学部の前期日程の募集人員に加える。

Ⅲ. 推薦人数

学校長が推薦する人数は、言語文化学部は1校あたり最大2名まで、国際社会学部は1校あたり最大2名まで、国際日本学部は1校あたり最大1名とする。

(注1) 同一の志願者を複数の学部推薦することはできない。

(注2) 志願者は、他の国公立大学の学校推薦型選抜と併願することはできない。

(注3) 各募集単位への推薦人数や現役／既卒者の別の制限は設けない。

Ⅳ. 出願資格等

日本の学習指導要領に基づく教育を行っている高等学校又は中等教育学校等を卒業した者及び卒業見込みの者で、かつ、志望する学部のすべての推薦要件を満たすものとする。

1. 基礎資格

以下(1)～(3)のいずれかに該当する者。ただし、卒業又は修了の時期は2025年(令和7年)4月1日から2026年(令和8年)3月31日までに卒業した者、または2026年(令和8年)4月1日から2027年(令和9年)3月31日までに卒業した者及び卒業見込みの者であること。なお、出願時に本学に在籍している者は本選抜に出願できない。

(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び卒業見込みの者

(2) 特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した者及び修了見込みの者

(3) 文部科学大臣から高等学校の課程と同等と認定された在外教育施設の課程を修了した者及び修了見込みの者

2. 推薦要件

志望する学部のすべての推薦要件を満たす者。

学部	推薦要件
言語文化学部	- 調査書の学習成績概評A段階に属する者 - 英語4技能の資格・検定試験である、ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定、GTEC、IELTS、TEAP、TOEFL iBT、TOEIC L&R/TOEIC S&W のいずれかにおいて、別表「各資格・検定試験とCEFRとの対照表」で、B2以上を取得している者 - 世界のさまざまな地域の言語と文化を積極的に学ぶ意欲を持っている者 - 外国語の習得に意欲を持ち、外国語科目において優れた成績を残している者 - 出身学校長が責任を持って推薦できる者 - 出願した場合には、病気や事故などのやむを得ない事由を除き、受験を辞退しないことを確約できる者 *他大学への合格又は入学決定を理由とする受験辞退は、「やむを得ない事由」には該当しない。 - 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者
国際社会学部	- 調査書の学習成績概評A段階に属し、2027年(令和9年)3月31日までに「地理歴史科」で「世界史探究」を4単位以上履修した者及び履修見込みの者(注1) - 英語4技能の資格・検定試験である、ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定、GTEC、IELTS、TEAP、TOEFL iBT、TOEIC L&R/TOEIC S&W のいずれかにおいて、別表「各資格・検定試験とCEFRとの対照表」で、B2以上を取得している者(注2) - 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする思考力を重視した探究的な学習や、国際交流に関する活動に組み、特筆すべき成果を修めた者 - 外国語の習得に意欲を持ち、外国語科目において優れた成績を残している者 - 出身学校長が責任を持って推薦できる者 - 出願した場合には、病気や事故などのやむを得ない事由を除き、受験を辞退しないことを確約できる者 *他大学への合格又は入学決定を理由とする受験辞退は、「やむを得ない事由」には該当しない。 - 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者

国際日本学部	1. 調査書の学習成績概評A段階に属する者 2. 英語4技能の資格・検定試験である、ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定、GTEC、IELTS、TEAP、TOEFL iBT、TOEIC L&R/TOEIC S&W のいずれかにおいて、別表「各資格・検定試験とCEFRとの対照表」で、B2以上を取得している者 3. 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする思考力を重視した探究的な学習や、国際交流に関する活動に取組み、コミュニケーション能力、問題解決力などの国際的な素養を身に付けた者 4. 外国語の習得に意欲を持ち、外国語科目において優れた成績を残している者 5. 出身学校長が責任を持って推薦できる者 6. 出願した場合には、病気や事故などのやむを得ない事由を除き、受験を辞退しないことを確約できる者 *他大学への合格又は入学決定を理由とする受験辞退は、「やむを得ない事由」には該当しない。 7. 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者
--------	---

(注1) 国際社会学部の推薦要件1に関して、高等学校等において世界史探究が4単位以上履修選択可能なカリキュラムが組まれているにもかかわらず、履修希望者が少ない等の理由で授業が開講されず、推薦要件1に必要な単位数を履修できない場合には、高等学校等を通じて事前に相談すること。ただし、高等学校等のカリキュラムにおいて、そもそも世界史探究が4単位以上設定されていない場合を除く。

なお、「世界史探究」と、「『世界史探究』と科目の名称は異なるものの、『世界史探究』と同等あるいはそれ以上に発展的な世界史科目として開講する学校設定科目」を併せて4単位以上履修及び履修見込みの場合も、国際社会学部の推薦要件1を満たす。このような場合についても、高等学校等のカリキュラムが確認できる資料（教育課程表等）を添付のうえ高等学校等を通じて事前に相談すること。

(注2) 国際社会学部の推薦要件2に関して、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、朝鮮語のいずれかについて、CEFRでB2以上の言語能力を有し、それを証明する文書を提出できる者は、英語の要件はCEFRでB1以上とする。

(別表) 各資格・検定試験とCEFRとの対照表

CEFR	ケンブリッジ 英語検定	実用英語 技能検定	GTEC	IELTS	TEAP	TOEFL iBT 旧 新	TOEIC L&R /TOEIC S&W
C2	230 200			9.0 8.5			
C1	199 180	3299 2600	1400 1350	8.0 7.0	400 375	120 95	1990 1845
B2	179 160	2599 2300	1349 1180	6.5 5.5	374 309	94 72	1840 1560
B1	159 140	2299 1950	1179 930	5.0 4.0	308 225	71 42	1555 1150

※英語4技能の資格・検定試験のスコアとして実用英語技能検定（英検）を提出する場合、CEFR B2以上を取得していることを証明する場合は準1級以上を、CEFR B1以上を取得していることを証明する場合は2級以上のスコアを提出する必要がある。

※TOEFL iBTについて、2026年1月20日以前受験のスコアレポートは0-120のスコアのみが表示される。2026年1月21日以降受験のスコアレポートは1-6のバンドスコアの記載と、2年間の移行期間中は従来の0-120のスコアが併記される。

※英語4技能の資格・検定試験のスコアとしてTOEIC L&R/TOEIC S&Wを提出する場合、L&R及びS&Wの両方のスコアを提出すること。また、TOEIC L&R/TOEIC S&Wについては、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定する。

3. その他

学校推薦型選抜において、同一の志願者が複数の学部を併願することはできない。また、本学の「帰国生等特別推薦選抜」、「私費外国人留学生選抜」及び「日本留学試験利用選抜」との併願はできない。

※国内の高等学校等（学校教育法第1条に定める学校）において国際バカロレア・ディプロマ・プログラムを履修する者については、学校推薦型選抜への出願を認めないものとする。

V. 出願期間

2026年（令和8年）11月1日（日）から11月5日（木）まで

出願は、Web 出願専用サイトでの登録を済ませたのち、必要書類を郵送すること（持参不可）。出願書類は一括して封筒に入れ、日本国内からの場合は簡易書留・速達郵便によるものとし、日本国外からの場合は EMS・DHL 等の、本学までの配達状況が追跡できるものを利用して送付すること。いずれの場合も上記期間内に必着とする。ただし、期間後に本学に到着した場合でも、2026年（令和8年）11月3日（火）以前の国内発信局消印のある（簡易）書留郵便であれば受け付ける。郵便事情を考慮し、十分余裕をもって発送すること。

VI. 出願手続等

1. 出願方法

郵送封筒には、Web 出願専用サイトでの登録及び検定料の支払い手続き完了後に出力が可能となる宛名票（必要事項を記入したもの）を貼り付けること。

なお、Web 出願専用サイトでの登録・検定料支払方法等については本学ホームページの以下のページに別途掲載する案内を参照すること。

<https://www.tufs.ac.jp/admission/exam/guideline/suisen.html>

2. 出願書類

次の表のとおり準備すること。なお、★が付いた書類は、本学ホームページからダウンロードした書式を使用すること。（<https://www.tufs.ac.jp/admission/exam/guideline/suisen.html>）

書類等	摘要
顔 写 真 デ ー タ 要アップロード	Web 出願専用サイト上でアップロードすること。なお、大学入学共通テストを受験する者は、大学入学共通テスト受験票で使用する写真データと同一とすること。大学入学共通テストの Web 出願時に使用した写真ファイルのデータを破棄してしまった場合、可能な限り同様の条件で撮影した写真を準備すること。
入 学 志 願 票 要郵送	Web 出願専用サイトよりダウンロードし、片面印刷したもの（A4 サイズ、カラー・白黒どちらでも可）。ただし、入学検定料支払い前に表示される入学志願票サンプルは使用しないこと。
★学 校 長 の 推 薦 書 要郵送	本学所定の書式により出身学校長が作成し、発行者において厳封したもの。本学ホームページからダウンロードした書式を使用し、A4 用紙（210mm×297mm）に両面印刷すること。
調 査 書 要郵送	出身学校長が作成し、発行者において厳封したもの。
★大学入学志望理由書 要アップロード	本学ホームページから指定の Word ファイルをダウンロードし、ページ設定（A4）・フォントサイズ・行幅などの設定は変更せずにタイピング入力して作成すること。作成後は PDF 形式で保存し、Web 出願専用サイトへ他の出願書類と同時にアップロードすること。 ※記載内容は志望学部により異なる。本要項 12 頁以降の指示に従うこと。
★活 動 報 告 書 要アップロード	本学ホームページから指定の Word ファイルをダウンロードし、ページ設定（A4）・フォントサイズ・行幅などの設定は変更せずにタイピング入力して作成すること。 活動報告書を作成後、担任教員による内容確認を受けたのち、活動報告書様式のチェックマーク表示欄にチェックを入れ、担任教員の氏名を担任教員氏名欄に入力した状態で PDF 保存し、Web 出願専用サイトにてアップロードすること。 活動報告書にかかる成果物がある場合、各ページ A4 サイズの PDF ファイルにまとめ、活動報告書と併せて Web 出願専用サイトにてアップロードすること。 ※記載内容は志望学部により異なる。本要項 12 頁以降の指示に従うこと。

英語の資格・検定試験スコア ※試験種ごとに郵送/アップロードの対応が異なるため試験種ごとのスコア提出方法を確認すること。	英語 4 技能の資格・検定試験である、ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定、GTEC、IELTS、TEAP、TOEFL iBT、TOEIC L&R/TOEIC S&W のいずれか 1 つのスコアの原本を提出すること。 [スコアの提出方法について] 原則、試験実施機関から本学へ直送するよう手配すること。なお試験実施機関から本学への直送に期間を要することがあるため、注意すること。 あわせて、言語検定試験証明書のコピー又は試験実施機関のホームページから出力したものや表示画面のスクリーンショットなどを PDF ファイルに変換した上で Web 出願専用サイトへアップロードすること。 送付先 〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1 東京外国語大学入試課入学試験係 補足事項 ・ IELTS の Test Report Form は、試験を受験した各テストセンターから本学へ直送手配すること。なお、オンラインによるスコア提出が可能な場合は、直送に代えて、試験実施機関を通じてオンラインで提出することができる。 ・ TOEFL iBT の Official Score Report は、試験実施機関である ETS (Educational Testing Service) から本学へ直送手配すること。なお、オンラインによるスコア提出が可能な場合は、直送に代えて、試験実施機関を通じてオンラインで提出することができる。本学の ETS 登録コード (Designated Institution Code) は「3059」。なお、Department Code の指定はないため、任意のものを 1 つ選択すること。 ・ TOEIC Tests の Official Score Certificate は、試験実施機関である (一財) 国際ビジネスコミュニケーション協会から本学へ直送手配すること。詳細は、下記の公式サイトから確認すること。なお、海外で TOEIC Tests を受験した場合は、当該国の試験実施機関に直接問い合わせること。 <TOEIC 公式サイト「公式認定証直送制度のご案内」> https://www.iibc-global.org/toEIC/test/lr/guide04/score.html ・ 実用英語技能検定は、実施機関で直送の手配をおこなっていないため、Web 出願専用サイトでアップロードし郵送すること。郵送時、厳封されている必要はない。 ・ 上記の方法で提出することが困難な者は、事前に入試課まで相談すること。
ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語又は朝鮮語の資格・検定試験スコア (該当者のみ)	国際社会学部を志望する者で、4 頁推薦要件 (注 2) に該当するものは、英語の資格・検定試験スコアと併せて提出すること。なお、提出するスコアは、専攻言語に関わらず提出することができる。 これらの言語の CEFR 対照表は、以下より確認すること。 https://www.tufs.ac.jp/admission/exam/guideline/suisen.html [スコアの提出方法について] 上記「英語の資格・検定試験スコア」と同様の方法で提出すること。
検 定 料 (17,000 円)	Web 出願専用サイトにおいて検定料の支払い手続きを進め、支払うこと。 (注 1) 検定料の支払いの際に、別途手数料 (出願者負担) が必要となる。
あ て 名 票 要郵送 (郵送する封筒に貼り付けて使用すること)	Web 出願専用サイトよりダウンロードし、片面印刷したもの (A4 サイズ、カラー・白黒どちらでも可)。ただし、入学検定料支払い前に表示される宛名票サンプルは使用しないこと。 角形 2 号封筒に「宛名票」を貼り付けて、「入学志願票」及び「調査書等」をまとめて郵送すること。また、郵送前には必ず封入物を確認すること。 封筒の裏面には、郵送中に「宛名票」が破損した時のために、志願者の住所、氏名を記入すること。

3. 留意事項

- (1) 本学又は他の国公立大学・学部一般選抜に併願することは差し支えないが、国公立大学・学部の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含む）へ出願することが出来るのは、1つの大学・学部である。
- (2) 学校推薦型選抜において、同一の志願者が複数の学部を併願することはできない。また、本学の「帰国生等特別推薦選抜」、「私費外国人留学生選抜」及び「日本留学試験利用選抜」との併願はできない。
- (3) 出願後の専攻言語、専攻地域又は学科の変更は認められないので、慎重に選択すること。
- (4) 出願書類に不備がある場合は受理しないことがあるので、十分注意すること。
- (5) 受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返却しない。
- (6) 出願受付後は、いかなる理由があっても、既納の検定料は返還しない。
- (7) 提出書類に偽りの記載又は隠した事実があったとき、また不正行為をおこなったときは、入学後であっても入学を取り消すことがある。通信機能のある電子機器類（スマートフォン、小型イヤホン、スマートグラス等）は試験時間中に使用することはできない。使用した場合は不正行為となることがある。不正行為を行った場合、その場で受験の中止と退室を指示する。また当該年度の全ての入試において、成績を無効とする。納入済みの検定料および入学料は返還しない。また、特に悪質な不正行為については、警察に被害届を提出する場合がある。

Ⅶ. 受験票

出願書類が不備なく受理された者に対し、本学から Web 出願専用サイトに登録されたメールアドレス宛に、2026 年（令和 8 年）11 月 10 日（火）までに受験票発行の通知を送る。メールを受信したら、各自で Web 出願専用サイトのマイページより「受験票」をダウンロードし、印刷すること（A4 サイズ、カラー・白黒どちらでも可）。もし、2026 年（令和 8 年）11 月 13 日（金）までにメールが届かないときは、11 月 16 日（月）に本学入試課に電話で問い合わせること。

受験票は、入学者選抜及び入学手続の際に必要なとなるので、紛失しないように注意すること。

VIII. 選抜方法

提出された出願書類、小論文及び面接により総合して評価する。なお、志願者多数の場合は、提出書類による第1次選考を行うことがある。

①出願書類

調査書、推薦書、大学入学志望理由書、活動報告書、英語4技能の資格・検定試験のスコア等

②小論文

学部	実施方法	試験時間
言語文化	その場で与えられた課題について小論文を課す。	9:30～11:00 (90分)
国際社会	あらかじめ指定された課題図書に基づく小論文を課す。 課題図書：『ピラヴド』（ハヤカワ epi 文庫、ISBN：4151200576、トニ・モリスン著、吉田廸子訳、2009年） (注1) 受験者は課題図書をあらかじめ精読していること。なお、解答に際しては自分が引用した箇所のページ明記が求められる場合もあるため、当該の課題図書を持参すること。(持参した本の中に傍線や多少のメモ書きを記していても構わない) (注2) 試験問題は日本語で出題される。解答も日本語で行うこと。	
国際日本	その場で与えられた課題について小論文を課す。	

③面接

学部	実施方法	試験時間
3学部共通	志望理由、高等学校等までの学習歴、入学後の学修計画、特筆すべき課外活動・社会活動等に関し、質疑応答を行う。	11:30～

小論文・面接 実施期日・試験場

学部	実施期日	試験場
言語文化	2026年（令和8年）11月28日（土）	東京外国語大学 (東京都府中市朝日町3-11-1)
国際社会 国際日本	2026年（令和8年）11月29日（日）	

※Web出願専用サイトからダウンロード・印刷（A4サイズ、白黒可）した受験票を持参すること。

※試験実施期日当日の注意事項や面接の詳細な時間等については、Web出願専用サイトのマイページを通じて2026年11月20日（金）に案内する。

IX. 合格者発表

2026年（令和8年）12月16日（水）午前10時 本学ホームページに合格者受験番号一覧を掲載する。

掲載ページ：<https://www.tufts.ac.jp/admission/exam/guideline/suisen.html>

また、推薦を行った日本国内の学校長には、発表当日、「合否決定通知書」を送付する。

合否に関する電話等による照会には、一切応じない。

X. 入学手続等

合格者は、所定の期間内に入学手続を行うこと。手続きの詳細については、合格者発表の際に Web 出願専用サイトのマイページを通じて連絡する。また合格者に対して発行する合格通知書も Web 出願専用サイトのマイページよりダウンロードすることができる。

なお、入学手続の際、本学受験票が必要となる。また、令和 9 年度大学入学共通テストに出願済みの者は、入学手続時に大学入学共通テストの受験票も提出すること。

1. 手続期日

2027 年（令和 9 年）2 月 1 日（月）16 時まで

Web 出願専用サイトのマイページより入学手続に必要な情報の登録や入学料等の納付を完了させた上で、必要書類を上記期日までに本学必着で郵送すること。

2. 納付金

入学料：282,000 円

英語外部試験受験経費：15,855 円

なお、授業料は前半期分 267,900 円を 5 月中に、後半期分 267,900 円を 10 月中に徴収する。

（注 1）入学時又は在学中に授業料・英語外部試験受験経費の改定が行われた場合は、新授業料・英語外部試験受験経費を適用する。

（注 2）支払われた入学料は、原則返金しない。

（注 3）入学時には、上記入学料等のほか、学生教育研究災害傷害保険料等の諸経費が必要になる。

3. 留意事項

- (1) 合格者で特別な事情がある場合に限り、2027 年（令和 9 年）1 月 29 日（金）までに合格者の推薦を行った学校長から、本学宛入学辞退届（様式任意）が提出され、本学の学長が許可した場合に限り、その入学辞退を認める。入学辞退の許可を得ないまま、本学又は他の国公立大学・学部一般選抜を受験しても、合格者とはならないので注意すること。
- (2) 合格者が 2027 年（令和 9 年）2 月 1 日（月）までに入学手続を完了しないときは、学校推薦型選抜の合格者としての権利は消失する。なお、入学手続を完了しない者が(1)の場合を除き、本学又は他の国公立大学・学部一般選抜を受験しても、合格者とはならないので注意すること。
- (3) 本学学校推薦型選抜に合格し、2027 年（令和 9 年）2 月 1 日（月）までに入学手続を行った者は、本学又は他の国公立大学・学部一般選抜を受験しても、その合格者にはならない。

XI. 障害等のある志願者の事前相談について

本学に入学を志願する者で、受験上及び修学上合理的な配慮を必要とするものは、事前に本学入試課に相談すること。

なお、相談の受付期日後に受験上及び修学上の特別な配慮が必要となったものは、電話等で相談すること。

(1) 受付期日 2026 年（令和 8 年）10 月 9 日（金）まで

(2) 相談方法

以下の所定様式に必要事項を記入し、同封書類⑧⑨とともに、（簡易）書留郵便により郵送又は直接窓口へ持参すること。本学が必要と判断する場合は、本学において志願者又は関係者等と面談を行う。

[所定様式] <https://www.tufs.ac.jp/common/is/nyushi/pdf/hairyo.docx>

[記載事項] ①志願者氏名、年齢、性別 ②連絡先（住所・電話番号・Email）

③出身学校、卒業又は修了（見込）年月 ④試験区分、志願学部、募集単位

⑤障害の種類、程度 ⑥受験上希望する措置 ⑦修学上希望する措置

[同封書類] ⑧添付書類（医師の診断書（原本）、障害者手帳等（写）等）

⑨レターバックライト（本学から審査結果を送付する際に使用する。以下の注を参照のこと）

（注 1）レターバックライトは、郵便窓口・コンビニエンスストアなどの郵便切手類販売所で購入可能。

（注 2）申請者の宛先（日本国内に限る）を「お届け先」欄に記入し、半分に折って同封すること。なお、「ご依頼主様保管用シール」ははがさないこと。

XII. 個人情報の利用について

出願にあたり提供された氏名、住所、電話番号、入学者選抜の成績等の個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人東京外国語大学個人情報保護規程」に基づいて、次のとおり取り扱う。

(1) 出願時に提供された個人情報は、入学者選抜、合格者発表及び入学手続業務に利用する。

(2) 入学者選抜に用いた試験成績等の情報は、個人が特定されない形で、今後の大学教育及び入学者選抜の改善のための検討資料として用いることがある。

(3) 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名、合否及び入学手続に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付する。

(4) 入学者の個人情報は、教務関係（学籍簿の作成、英語学習支援等）、学生支援関係、授業料徴収に関する業務に利用する。

(5) 上記各種業務での個人情報の利用にあたって、個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結した上で、一部の業務を外部の事業者（以下「受託業者」という）に委託することがある。その場合、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、本学が保有する志願者の個人情報の全部又は一部を提供することがある。

XII. 出願書類作成上の注意

1. 大学入学志望理由書・活動報告書の作成について

本学ホームページから指定の Word ファイルをダウンロードし、ページ設定 (A4)・フォントサイズ・行幅などの設定は変更せずにタイピング入力して作成すること。作成後は PDF 形式で保存し、Web 出願専用サイトへ他の出願書類と同時にアップロードすること。

各学部で指定する記載事項や字数制限が異なるため、本項直下の「4. 大学入学志望理由書・活動報告書の作成に関する各学部の指定事項一覧」に記載されている志望学部の指示を確認し、作成すること。

2. Web 出願サイトでの入力について

Web 出願専用サイトでの入力・選択にあたっては、サイト上の案内画面および事前に本学ホームページ等に掲載する「入力例」に従い、誤りのないよう正確に入力すること。

3. 内容の訂正・差し替え不可について

Web 出願サイトでのデータ送信後、およびアップロードされた PDF ファイル (大学入学志望理由書・活動報告書等) の送信後における内容の修正・差し替えは一切認めない。必ず送信・保存前に十分な確認を行うこと。

4. 大学入学志望理由書・活動報告書の作成に関する各学部の指定事項一覧

大学入学志望理由書および活動報告書の様式は、以下よりダウンロードすることができる。

<https://www.tufs.ac.jp/admission/exam/guideline/suisen.html>

各学部が定める大学入学志望理由書及び活動報告書の記載事項等については以下の通り。

■ 言語文化学部

【大学入学志望理由書】

①東京外国語大学を志望する理由、②他学部との違いをふまえた上で言語文化学部を志望する理由、③該当する専攻言語を志望する理由、④大学入学以降の具体的な学びのイメージについて、それぞれ述べてください。分量は 1,200 字程度とします。

【活動報告書】

これまでの活動を、以下の項目についてそれぞれ述べてください。①は必須ですが、②～⑥に関しては該当しないものについては言及しなくてもかまいません。分量は 2,000 字程度とします。

なお、成果物がある場合は、その成果がわかるような資料をアップロードしてください。成果物が造形物や動画等の場合は、写真 (静止画) に収め、各ページが A4 サイズの PDF ファイルにまとめ、内容がわかるようにしてアップロードしてください。これは、2,000 字の字数制限外とします。

① 語学に関する取り組み

海外体験などのほか、スピーチ・コンテスト、ディベート・コンテストおよび模擬国連等に参加した経験がある場合はこれに含めてください。英語以外の語学を学んだ経験がある場合は、必ずそれに言及し、また、英語以外の語学の検定などの資格を有する場合は、その書類のコピーも添付してください。

② 部活動

活動期間および内容について。特筆すべき成績等があればそれも記してください。

③ 生徒会活動

活動期間および内容について。

④ ボランティア活動

活動期間および内容について。

⑤ 探究的学習

その内容について。成果物も添付してください。

⑥ その他の活動

上記①～⑤に含まれないものについて。その内容に応じて成果がわかる資料を添付してください。

■ 国際社会学部

【大学入学志望理由書】

国際社会学部を志願する具体的理由（国際的な課題に対する関心、志願地域を選択した理由を含む）、学業への抱負、将来の目標などを、これまで取り組んできた学習や活動を踏まえて、2,000 字程度の日本語で記入してください。

【活動報告書】

これまで行った活動のうち、以下の①について記入してください。②に関しては、該当する成果がある場合は記入してください。分量は全体で 2,000 字程度とします。

なお、成果物がある場合は、その成果がわかるような資料をアップロードしてください。成果物が造形物や動画等の場合は、写真（静止画）に収め、各ページが A4 サイズの PDF ファイルにまとめ、内容がわかるようにしてアップロードしてください。これは、2,000 字の字数制限外とします。

① 国際的な課題をテーマとする思考力を重視した探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組んだ経験について、それを行った時期や期間、目的や具体的内容、活動により得た成果を記してください。

② その他の活動（部活動、生徒会活動、ボランティア活動、探究的学習の成果など）について、活動期間及び内容を記してください。

■ 国際日本学部

【大学入学志望理由書】

①東京外国語大学を志望する理由、②他学部との違いをふまえた上で国際日本学部を志望する理由、③大学入学以降の具体的な学びや活動のイメージと将来の希望・目標について、それぞれ述べてください。分量は 1,200 字程度とします。

【活動報告書】

これまでの活動について、以下の項目に従いそれぞれ述べてください。①と②は必須ですが、③のうちの該当しないものについては言及しなくてもかまいません。分量は全体で 2,000 字程度とします。

① 国際的な課題あるいは多文化状況をめぐる課題に関する学習および取り組みについて
国際交流に関する活動や、海外体験、スピーチコンテスト、ディベートコンテスト、模擬国連などへの参加経験がある場合はこれに含めてください。

② 英語学習に関する取り組み、あるいは自己の英語運用能力に関して
英語 4 技能の資格・検定試験の受験経験にも言及してください。

③ その他

a. 英語以外の言語の学習について

英語以外の語学を学んだ経験がある場合はそれに言及してください。検定などの資格を有する場合は、その書類のコピーも添付してください。

b. 部活動

活動期間および内容について。特筆すべき成績等があればそれも記してください。

c. 生徒会活動

活動期間および内容について。

d. ボランティア活動

活動期間および内容について。

e. a～d 以外の活動

その内容に応じて成果がわかる資料を添付してください。

なお、上記に指定した以外のものでも、それぞれの項目について活動内容がわかる資料があれば、各ページを A4 サイズにまとめた PDF ファイルをアップロードしてください。造形物、動画などの作成について述べたい場合は、成果物の内容がわかる静止画等を A4 サイズの PDF ファイルにまとめたものをアップロードしてください。（いずれの添付物も、制限字数の中には算入しません。）

問 い 合 わ せ 先

東京外国語大学学務部入試課入学試験係

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

TEL 042-330-5179

受付時間（窓口・電話）

月曜日から金曜日 9:00～12:00 13:00～17:00

（土日祝日及び本学夏季休業期間を除く）

※ 問い合わせは、原則として出願者本人が行うこと。